

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

築城当時の白さが
 甕が甕きた。
 古くて新しい
 姫路城

江戸時代末期に建てられた現
 存天守で最大の規模を誇る
 国宝姫路城。50年ぶりに行なわれ
 た「平成の大修理」で甕々とした美しさを
 堪能しその歴史と防衛の巧み
 さを学ぶ。

この城は豊臣家と西国を威圧する
 ために造られた、史上最大級の城郭
 いまわれわれが見る姫路城はおもに内堀
 の内側の「内曲輪」と呼ばれる区画である。



内堀を渡る料門橋
 内堀の石垣上には、三重櫓などがあり、格式の清さと防衛の堅固さを誇った。

三の丸に入る大手門



本来池田輝政が築いた姫路城は
 その外側にさらに三重に堀をめぐら
 せた巨大なものであった。
 築城当時は大城(大坂城)に豊臣
 本将頼朝あり、徳川家康との決戦は
 避けられない状況であった。
 家康が大坂を攻める際、豊臣に因心
 のある西国大名が大坂へ援軍に押
 し寄せることを阻むため輝政は姫
 路を堅固な城を築いた。
 姫路城天守は築城当時、日本最大
 級の大きさで、香吉が建てた大坂城
 天守の容積の2倍あった。これは豊臣
 家への示威とされる。
 姫路城は幸運にも戦火にまわられるこ
 となく明治維新を迎え太平洋戦争の
 空襲でも奇跡的に生き残った。
 築城から約350年を経て、
 白鷺城といふかわいらしい姿に甕た。
 白漆喰は傷みやすく維持費が

姫路城日本将の弟香長など
 が城主となつたが、慶長5年
 (1600)に徳川家康の家臣で
 家康の娘婿である池田輝
 政が搦磨一國2万石の大名
 として入封し現在の姫路城
 を築いた。

高がそれでも輝政は
 総塗籠の美しい城を
 造った。築城時の白さを
 感じるとほい。

